

# 高活協通信(2022年9月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

## ◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

### ■お知らせ

- 亡くなられた上田研二前理事長の「お別れの会」が、(株)高齢社の主催で、来月(9月20日)に東京プリンスホテル2階サンフラワーホールにて開催されます。
- 今月の「70歳就業法」関連情報欄に、「米国でも退職後に働きたいと考える高年齢者が増加する傾向」を掲載しました。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「じじばばのるつぼ」です。
- 高活協ホームページを更新しました。
  - ・「高活協ホームページ」のURLは以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月1回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

### ■2022年8月の主な活動

- 高活協は現在、シンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を自粛しております。ただし、少人数の会議やZOOM等を利用したオンラインの会議・イベント等は新型コロナの感染状況を睨みながら適宜実施しております。
- 「70歳就業法」関連情報欄では、「米国でも退職後に働きたいと考える高年齢者が増加する傾向」を掲載しました。かつての米国では、退職後はリタイアメントコミュニティなどに住んで、旅行やゴルフを楽しみながら悠々自適な生活を送ることが成功者とされていました。最近ではその米国ですら、退職後の生活に関する考え方が変わってきているようです。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2022年8月号)」を掲載しました。
- 2022年8月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお「70歳就業法」関連情報は、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてートピックス◆◆◆」のコーナーに、適宜掲載していきます。

## ◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

---

### ■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.genomics.org/>

## ◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

---

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

## ◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて – トピックス◆◆◆

---

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。

そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

### ■70歳就業法 – 職業寿命の延伸と生産性の向上を両立させられるかが鍵

○昨年4月から「70歳就業法」が施行され、企業等に70歳までの就業確保措置の努力義務が課されることになりました。企業等にとっては、「70歳就業法」の施行を、単に国による職業寿命の延伸政策ととらえるのではなく、全社的な人事・雇用制度を見直し、社員の意欲と生産性を高めるための機会と位置づける必要があります。

○今後このトピックスのコーナーでは、「70歳就業法」の施行に関連した情報を適宜掲載していきます。企業等の人材活用戦略などの参考にしていただければ幸いです。

---

米国最大の高齢者関連団体 AARP は、労働者の退職後の就労意向に関する調査(2020年実施)を行っていますが、結果を「Top 25 Part-Time jobs for Retirees」と題して AARP のホームページに掲載しています。今回はその調査結果の概要を紹介させていただきます。

---

### 米国でも退職後に働き続けたいと考える高齢者が増加する傾向

AARP の調査によると、米国労働者の 55%が退職しても働き続ける意向(44%がパートタイムで、14%がフルタイム)である。

そして、退職しても働き続ける理由としては、「追加的収入を得るため」が 53%と最も多くなっているが、35%は別の理由を挙げている。

別の理由の多くは「広い意味で健康のため」だが、具体的には「退職後もアクティブでいたい」(47%)、

「頭をシャープにしておきたい」(39%)などである。

また、「広い意味で仕事を楽しむ」ことを挙げている人もいる。例えば、「目的を与えられる」(34%)、「社会的つながりを維持できる」(21%)などである。

どうやら米国でも健康なうちは、あるいは健康を維持するために、退職後も働き続けることがトレンドになりつつあるような気がします。

ところで AARP ホームページ掲載のタイトルである「Top 25 Part Time jobs for Retirees」ですが、過去 2 年間に 55 歳以上の労働者 19 万人から集めたデータをベースに、最も一般的なパートタイムジョブを選び、5 つの視点からランク付けしています。すなわち、「55 歳以上のパートタイマーの比率」、「典型的な時給」、「ジョブに高満足している人の割合」、「意義のある仕事である」、「ジョブの肉体的要求度」の 5 つです。

ここではリストアップされたすべてのパートタイムジョブを記載することは省略しますが、例えば、「簿記」、「スクールバスドライバー」、「オフィス管理」、「乳母」、「歯科助手」、「応接係」、「保安員」、「ハウスキーパー」、などが含まれています。

---

## ◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

### ■今月の 1 冊

人生 100 年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

---

書 名:じじばばのるつぽ

著 者:<sup>むれ</sup>群 ようこ

出版社:新潮社(新潮文庫)

(URL <https://www.shinchosha.co.jp/book/115934/>)

定 価:605 円(税込)

今回は、女性エッセイストの群ようこさん(1954 年生まれ)の書籍を紹介します。すでに文庫化されていますので、コロナ禍以前の 2019 年発刊の書籍です。「エッセイストから見た高齢社会」といった趣のエッセイ集なのですが、タイトルが強烈なので、それだけで「引いてしまう」かたもいるかもしれません。高齢の方にとっては、「バカにするな」と憤りにも似た感情を抱く人も出てくるでしょう。

あらためて説明しますと、タイトルにある「じじ」とは高齢男性、「ばば」とは高齢女性のこと。著者が直接見聞した「じじ」や「ばば」が主役の小さな事件や、著者の友だちや近所の人から聞いたエピソードなどが、軽快なタッチでまとめられています。

具体的には、「アクシデントで止まった電車の中で、大声で何度もわめく“じじ”」、「他のお客が順番待ちをしているにも関わらず、レジ係といつまでも話し込む“ばば”」、「駅のホームの整列乗車を無視して空席に突

進する“ばば”」、「病院に素足で来院し、そのままスリッパを履く“じじ”」、「夫婦一緒に出かけたにも関わらず、妻に電車のなかで『私は別の車両に移ります』と宣言される“じじ”」といったエピソードが収められています。なかには、著者が体験した、高齢ドライバーによる接触事故すれすれのエピソードもあり、高齢者の運転をめぐる問題は本当に身近なものだということが実感できます。

正直、肩が凝らない書籍だと思って手に取ったのですが、「じじばばグループ入り」間近な筆者には、他人事ではないような気もして、意外と肩が凝ってしまいました。反面教師にはなりたくないという人にお勧めしたいと思います。

(個人賛助会員:坂巻 大)

## ■高齢者雇用の総合誌『エルダー』2022年9月号(2022年9月1日発行)のご紹介

発行:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

<http://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

### <特集>活かしていますか? 高齢社員の能力・経験

高齢社員には長年の職業生活のなかでつちかってきた、豊富な知識・技術・経験があります。みなさんの会社では、そんな高齢社員の能力・経験をどのような形で活かしていますか? 若手・中堅世代と同じように、現場の最前線で活躍してもらおうといった活用方法もありますが、経験の浅い社員の育成や技能の伝承、現場管理職の補佐などを担当することで貢献してもらおうのも一つの方法です。そこで今号の特集では、後進の育成や現場のサポートなどで、高齢社員が活躍している企業の事例を紹介します。

### 総論 高齢社員の持つ能力を使って後輩を支援する

法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授 藤村博之

企業事例① 株式会社光真製作所(滋賀県草津市)

企業事例② 株式会社 Photosynth(東京都港区)

企業事例③ 協伸静塗株式会社(富山県高岡市)

### <連載>

#### ○リーダーズトーク(No.88)

65歳定年制と70歳までの再雇用制でベテラン層の活性化と活躍を促進

住友電設株式会社 取締役 常務執行役員 島田哲成さんに聞く

#### ○江戸から東京へ 作家 童門冬二(第118回)

萩の人気塾長 久保五郎左衛門

#### ○高齢者の職場探訪 北から、南から(第123回)

奈良県 近畿編針株式会社

#### ○生涯現役時代の高齢社員活躍支援のポイント(第2回)

高齢社員がモチベーション高く働ける制度を整えよう!

森中謙介

○高齢者に聞く 生涯現役で働くとは(第 76 回)

株式会社人形町今半 相澤竹夫さん(69 歳)

○知っておきたい労働法 Q&A(第 52 回)

執行役員の処遇、シフト削減と違法性

○病気とともに働く(最終回)

株式会社愛知銀行

○いまさら聞けない人事用語辞典(第 28 回)

「労働組合」

株式会社グローセンパートナー 執行役員・ディレクター 吉岡利之

○集中連載 マンガで学ぶ高齢者雇用 教えてエルダ先生!

(第 3 回) どうすれば高齢社員が安全に働ける職場になるの?

○特別寄稿 労働力のミドルエイジ化とその活力

独立行政法人労働政策研究・研修機構 主任研究員 池田心豪

○日本史に見る長寿食(vol.347)食文化史研究家 永山久夫

タマネギで涙ポロポロがいいんです

○「生涯現役促進地域連携事業」より地域発の取組みから学ぶシニア就業

○イキイキ働くための脳力アップトレーニング!(第 63 回)

---

◆◆◆  
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍  
支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

---

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第 6 葉山ビル 4 階

TEL: 03-6555-3926 HP: <http://www.agenomics.org>

---